



地域のチャレンジを 応援しています!

地域づくり 夢チャレンジ推進事業 事例集



熊本県

目次

■ 概要	2
移住の促進	特集 「ヒゴタイの里うぶやま」住んでみたいむらづくり事業 / 産山村 3
	和水平「田舎暮らしのすすめ事業」 / 和水平 5
	空き家を活用した定住化促進事業 / 菊池市 6
起業の誘発	特集 じーちゃん ばーちゃん みんなで町のあかりを灯そう / 町の台所あかり [錦町] 7
	松合の食と町並みを生かした交流拠点づくり / 下萬屋 [宇城市] 9
	美里の里の逸品で地域おこし事業 / 東部地区活性化協議会 [美里町] 10
	里山レストラン事業 / 菅地区山村交流ビジネス協議会 [山都町] 11
	あんぽ柿「ほっぺ」による起業化の取り組み / 菊鹿町干し柿研究会 [山鹿市] 12
	阿蘇の地域性を生かした郷土料理レトルト加工食品事業 / NPO法人にしはらたんぼぼハウス [西原村] 13
	イグサアロマの開発 / MAG [八代市] 14
交流の拡大	特集 九州オルレを活用したインバウンドフォーラム事業 / 上天草市 15
	モンタナ州との恐竜交流事業 / 御船町 16
	南小国町「美しい村」再発見事業 / 南小国町まちづくり戦略策定部会 [南小国町] 17
	天草観海アルプストレッキングイベント～山ガールサミット in 上天草～事業 / 上天草市 18
絆の構築	特集 網田地域拠点づくり事業 / 宇土市 19
	槻木の夢ビジョンづくり事業 / 多良木町 20
	創作ステージふるさと詩集(うたあつめ) Vol.4「あらお・ありがとう・あしたへ」 / 荒尾総合文化センター指定管理者 中央設備 ステージ・ラボ共同体 [荒尾市] 21
■ 補助金採択事業一覧	22
■ お問い合わせ先一覧	34

概要

地域のチャレンジを応援しています！

熊本県では、そこに暮らす地域住民の方々や市町村が、地域の維持・発展に自らチャレンジし、地域を元気にする取り組みに対し、「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」による支援を行っています。

この度、この支援を活用した取り組みの中から代表的なものを取りまとめた事例集を作成しましたので、皆様の地域づくりの参考としていただければ幸いです。

さらに詳細な補助金の活用方法を知りたい、もっと地域づくりについて相談したいなどのご質問・ご相談につきましては、巻末の市町村窓口や県地域振興局へお気軽にお尋ねください。

■支援する4つの分野

移住の促進

- ・・・熊本県外から県内への移住定住を促進し、地域を維持・発展させていく地域づくりを支援します。

起業の誘発

- ・・・地域活動に根ざした起業や、地域の高齢者や障がい者の方々等と一緒に取り組む起業、農業等の6次産業化などの地域資源活用による起業を支援します。

交流の拡大

- ・・・豊かな自然、文化、歴史、伝統、食などの地域資源を生かして県内外から人を呼び込み、交流人口を拡大しようとする取り組みを支援します。

絆の構築

- ・・・地域づくりの基本となる計画づくりや、過疎地域における買い物弱者の解消、文化による地域活性化などの取り組みを支援します。

※上記の分野に該当しない、県内各地域ならではの独自性（特性や優位性）を活用した、地域活性化につながる先進的かつモデル的な取り組みも支援します。

詳しくは、巻末の市町村担当窓口又は、県地域振興局にお尋ねいただくか、インターネットから県のホームページをご覧ください。

地域づくり夢チャレンジ

検索



特集

「ヒゴタイの里うぶやま」住んでみたいむらづくり事業 【取組団体：産山村】

村内の空き家を調査し、賃貸可能な物件を村が借り上げて改修し、村が求める移住希望者に提供する事業



木目調の外観に改修された田尻集落の空き家住宅

人口減少と少子高齢化は多くの自治体が直面している問題ですが、産山村もこの問題を抱えています。産山村では地域の担い手である農業従事者や移住・定住希望者向けに住まいの提供を積極的に行っていますが、その中で県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用して空き家改修を実施し、成果をあげています。

この取り組みに至った背景や取り組み内容などを、産山村企画振興課の井山さんにお聞きしました。

求めていた支援が県に創設された

産山村では、県内外からの移住希望者の受け皿づくりとして、村内に点在する空き家の紹介や、産山村で農業を始め、生計を立てたいという方を全面的に支援する「産山村新規就農者受入れ事業」、冷涼な気候を利用して高冷地野菜を栽培し、農業経営者としての独立を支援する「ほうれんそう学校」などの事業を行っています。

しかし、新築物件の建築や新規就農者の受け入れが進められる一方で、村内には空き家が散見されるものの、村内には不動産を取り扱う事業者がいないため、空き家があっても希望者に仲介することができないという問題も抱えていました。

「転機となったのは、県で平成23年3月に開催された「地域づくり夢チャレンジ推進事業」の市町村説明会に参加したことです」と井山さんが取り組むきっかけを話しはじめました。「新たに県で地域づくりの事業がスタートするという説明会の中で、空き家等を改修して県外からの移住・定住を促進する取り組みがあるというのを知りました。使える空き家を活用し集落の活性化につなげたいと考えていた頃だったので、まさに、産山村の実情にあった補助制度はこれだと思い、絶対に活用すると決めたんですよ」と当時を語ってくれました。

新潟、静岡、大阪から産山村へ移住

産山村では、県からの補助金の採択を受けてから最初に村内の空き家調査を行いました。今までは「〇〇地区に空き家があるらしい」という情報はいくつかありましたが、全体像はわからなかったため、村内に空き家がどれくらいあるのか、調査員を任命し調査をしました。その結果、25軒の空き家があり、その中で所有者の許可が得られて、かつ補助金の範囲内で改修できる4軒の空き家を10年間村が借り受けることとし、改修を行いました。

また、同時に村の定住サポートサイトを開設したり、村の広報誌やホームページで空き家への居住者を募集したりと広報活動も積極的に行いました。広報が功を奏し、熊本県内だけでなく県外からも問い合わせがあり、約15組の希望者が殺到しました。「村が望む人に来て欲しいわけですから、希望者の方々には面接を行ったうえで決定させてもらいました。現在は新潟、静岡、大阪の40～50代の夫婦を中心に4世帯10名が改修された住宅で生活されています」と井山さんが語ってくれました。



産山村山鹿地区

一人一人の顔が見える集落づくり

井山さんが村内を回れば、地域の人々から声がかかります。村の人口は1,600人足らずですが、だからこそお互いの顔が見えています。「空き家に人が住むことで人口が増え、集落の維持ができることはもちろんですが、移住された方が地域のお祭や行事に参加されることで、地域が発展し、そのまま村にも活気を与えることにつながっています」「今回、実際に移住されてきたご家族も、地域の清掃作業などに積極的に参加されており、また周りの住民の方々も移住者家族とスポーツ大会に参加するなど、つながりを深めています」と井山さん。

産山村では、現在も村営住宅への入居希望者と「ほうれんそう学校」などへの就農希望者の受け入れを継続的に行うほか、改修した空き家物件以外にも空き家の紹介をしており、移住希望者からの問い合わせも増えているところです。

「今後も村の基幹産業である農業の担い手を育て、産山村に定住していただけるよう取り組んでいきます」と語ってくれました。



中山鹿集落の空き家住宅（畑付き）



産山村企画振興課 井山さん

◆事業年度：平成23年度

◆分野(取組名)：移住の促進

(移住定住を促進する取組み)

◆事業費(補助対象経費)：16,600千円

◆補助金(交付決定額)：10,400千円

◆取組団体名：産山村(企画振興課)

和水町「田舎暮らしのすすめ」事業

【取組団体：和水町】

田舎暮らしモニターツアーを実施するとともに、これを利用しながら地域コミュニティでの受入体制の検討を行うなど、移住施策に体系的に取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

和水町は、高齢化率 36.5%の中山間地域であり、これまで、定住促進対策として様々な助成制度により「おいでよ！和水に」住まいづくり応援プランを展開していますが、人口減少に歯止めがかからず、人口流出に伴う空き家の発生も治安上問題となっています。

そこで、空き家を活用した移住促進策の検討を行うこととしました。



田舎暮らしモニターツアー（古民家見学）

取り組みの成果

この取り組みにより、田舎暮らしを希望される方のニーズ、町内の空き家の現状、地域での移住者等の受け入れ状況等を把握することができました。また、以前から問題となっていた空き家対策として、空き家バンクを制度化することで、空き家の有効活用ができるようになり、移住・定住希望者の田舎暮らしの相談に円滑に対応が出来るようになりました。



田舎暮らしモニターツアー（おふくろの味を堪能）

取り組みの内容

この事業では、町内にある空き家の状況を把握し、空き家所有者の活用意向の調査や空き家の利活用方策を検討し、空き家バンク制度の整備を行うなど、各種プログラム及び交流会を企画し、移住・定住を促進しました。

また、役場内に移住・定住希望者の様々な相談に対応できるよう、職員研修を実施し定住促進及び情報発信能力を高めました。更に、九州新幹線全線開通に伴い新玉名駅を利用する移住も新たに見込まれることから、移住・定住者は何を求めて和水町に来るのかを調査し、受け入れ体制及び地域コミュニティの理解を図りました。

具体的な内容

- 1) 空き家状況調査
- 2) 空き家バンクの制度化の検討
- 3) 田舎暮らしモニターツアーの実施など



田舎暮らしモニターツアー（地域との交流）

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野（取組名）：移住の促進
（移住定住を促進する取組み）
- ◆事業費（補助対象経費）：1,788 千円
- ◆補助金（交付決定額）：1,192 千円
- ◆取組団体名：和水町（企画課）

空き家を活用した定住化促進事業

【取組団体：菊池市】

中山間地域の空き家調査及び利用希望者のマッチングを行う事業

地域の現状（取り組みの背景）

菊池市の中山間地域では、人口減少に加え急速な過疎化・高齢化により自治機能の維持が危ぶまれる集落が増加しつつあることから、インターネットを活用した空き家情報の発信や、不動産業者との協定締結などの人口減少対策に取り組んでいます。

しかし、まだまだ物件情報が不足しているなど認知度が不足していることから、活用可能な空き家の把握とその情報を活用した移住促進の取り組みを進める必要がありました。



空き家調査の状況

取り組みの成果

平成24年度には、12世帯24人の方が移住され、NPOによる地元との橋渡しにより移住された方が地域活動に参加されるなど、スムーズに地域へ溶け込まれています。

また、移住者間の交流ネットワークも形成されており、各種イベントへの参加も活発に行われています。



空き家調査の状況

取り組みの内容

平成23年5月に、田舎暮らしを応援しているNPO法人21世紀環境研究会と菊池市の間で定住化に関する協力協定を締結し、協働して移住施策を進めているところです。この事業では、当該NPO法人に中山間地域全域(50集落)の空き家調査を依頼し、賃貸・売却等が可能な物件が見つかった場合には、移住を希望される方に紹介を行うとともに、移住後もスムーズに地域へ馴染めるようサポートを行いました。

具体的な内容

空き家の調査（調査、台帳作成）



「NPO法人21世紀環境研究会」のメンバー

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野(取組名)：移住の促進
(移住定住を促進する取組み)
- ◆事業費(補助対象経費)：1,411千円
- ◆補助金(交付決定額)：940千円
- ◆取組団体名：菊池市(都市整備課)

特集

じーちゃん ばーちゃん みんなで町のあかりを灯そう

【取組団体：町の台所あかり（錦町）】

高齢者が担い手となり、高齢者単身・高齢者夫婦世帯などに対し、安否確認と健康チェックを兼ねた配食サービスに取り組む事業



「町の台所あかり」のメンバー(右端:代表の岩見さん)

錦町の「町の台所あかり」では、ひとり・ふたり暮らしの高齢者世帯を対象に、地元の食材にこだわった安価でおいしい弁当を届けるため、県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用して、起業化に必要な機材の整備や料理のメニュー開発などを行っています。

この取り組みに至った背景や、取り組み内容などを「町の台所あかり」の皆さんにお聞きしました。

食事の大切さと買い物が困難な状況を知って

「町の台所あかり」のメンバーは、一人暮らしや、家の中で過ごしがちな高齢者の方々とふれあいを通して生きがいづくりを行う「いきいきサロン」でそれぞれボランティア活動をされていました。長いメンバーでは、この活動を14年前から携わられています。が、「いきいきサロン」のボランティア活動に携わったことが、弁当の宅配サービスに取り組むきっかけとなったそうです。

「町のじーちゃん、ばーちゃんが病院に頼りきりになっていたり、近くにお店がないから食事の買い物が不自由だったりという生活の現状を知る中で、高齢者の方が元気で活気ある暮らしを送るためには、何をすればいいのかなと考えた末に生まれたのが、『町の台所あかり』であり『配食サービス』なんです」とメンバーの皆さんが、取り組みのきっかけを教えてくださいました。

見守りと併せた活動 町の信頼も厚い

「町の台所あかり」では、平成23年度に「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用し、厨房器具の購入のほか、視察研修や調理方法の研究などを行いました。特に視察研修において、厨房器具等の選び方や、配達時の注意点などを学んだことが役に立ったということです。

現在は、錦町内の3地区の高齢者宅（1地区当たり20世帯）に週1回（月・水・金）ずつ弁当の配達をされています。配達する日は、朝8時前からメンバーのうち3人が集まって弁当づくりを行い、お昼に間に合うよう配達されています。このほか、月に一度「いきいきサロン」3箇所にも温かい弁当の配達をされています。「弁当配達時に安否確認や健康状態の確認などの見守りもやっており、変わったことがあれば町健康保険課に連絡しています」「弁当配達以外にも「みそづくりの指導」を町の委託を受けてやっています」と話されているように、「町の台所あかり」の活動には町の信頼も厚いようです。



「町の台所あかり」が入る農業就業改善センターの外観



調理風景

何より、自分たちが楽しくて 元気になれる場所「町の台所あかり」

弁当と見守りを兼ねた活動により、配達先の高齢者の方々は、おかずの種類が豊富な温かい弁当とともに、「町の台所あかり」のメンバーに話し相手になってもらうことも楽しみにされています。

気になるお弁当の値段は、お年寄りが何とか負担できるようにと1個400円とのこと。

「配達先のばーちゃんから、「楽しみに待っている」とか、「弁当のおかげでお通じが良くなった」という声

を聞けたり、家庭菜園の野菜を「弁当に使って」とお裾分けされたりということもあるんです」と楽しそうに話す皆さん。年齢をお尋ねすると「現在のメンバーは、平均70歳を超えています(笑)」と笑い声が聞かれました。

「もともと、みんな料理好きの人が集まっているから、ここで活動することで、よその家庭の味付けを知ることができるし、配達して回ればいろんな人の暮らしを知ることができ、自分の勉強になります」

この取り組みを通じて変わったことは、「宅配先の高齢者の方々が「町の台所あかり」を楽しみに待っていてくれることと、何より自分達が元気になれること」と皆さん。「県と町からの補助金ではじめられた活動なので、この場所を大切に使って、次の若い世代に引き継いでいきたいですね」と代表の岩見さんは語ってくれました。



調理風景

◆事業年度：平成23年度

◆分野（取組名）：起業の誘発

（コミュニティ・ビジネス起業化の取組み）

◆事業費（補助対象経費）：6,046千円

◆補助金（交付決定額）：4,321千円

◆取組団体名：町の台所あかり（錦町）

松合の食と町並みを生かした交流拠点づくり

【取組団体：^{したよろず}下萬屋（宇城市）】

地域食を提供するレストランの開業及び松合地区を知ってもらう着地型集客交流に取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

江戸時代の松合は、県内随一の漁港として栄えたことから今でも当時の食文化が大切に受け継がれている地域です。しかし、近年では食文化の担い手世代の流出が顕著であり、高齢化の一途をたどっています。

そこで、松合地区に残る土蔵白壁の伝統的な町並みや食文化を生かして地域の高齢者が一体となって取り組める地域づくり活動を実施することとしました。



下萬屋

取り組みの成果

豊富な地元農海産物を活用した“えび入りだご汁”を、郷土を代表する料理として世に広めることができ、地域活性化の取り組みをスタートすることができました。

メディアなどでの情報発信により注目度も上がり、問い合わせ件数の増加とともに、土日営業の平均客数が平成24年度の約1.5倍にまで増加しました。また、来店される方の約7割がリピート客で占められており、着実に活動の成果が生まれつつあります。

起業化できたことにより、食事の提供ばかりではなく地域産物の販売等により住民の交流の場にも活用され、地域の活性化につながっています。



調理風景

取り組みの内容

平成5年から「まっちゃん朝市」を開催している「まっちゃん活かそう会」と、白壁土蔵の保存に取り組む「松合の町並み保存会」のメンバーを中心に、平成22年に「松合保存会」（現「下萬屋」）を10名（うち65歳以上の高齢者4名）で立ち上げ、郷土食レストランの開業に向け、施設整備や調理器具等を購入し、名物郷土料理の開発を行いました。

具体的な内容

- 1) 土蔵白壁の建物を活用した交流拠点（郷土食レストラン）の整備
- 2) 郷土食、郷土の食材を使った食事を提供するための調理器具等の購入



「下萬屋」のメンバー

- ◆事業年度：平成23年度
- ◆分野(取組名)：起業の誘発（コミュニティ・ビジネス起業化の取組み）
- ◆事業費(補助対象経費)：2,452千円
- ◆補助金(交付決定額)：2,211千円
- ◆取組団体名：下萬屋（宇城市）

美里の里の逸品で地域おこし事業

【取組団体：東部地区活性化協議会（美里町）】

そばを中心とした地域産品を使った食事の提供及び加工品の販売に取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

美里町内で最も過疎化・高齢化が進んでいる東部地区においては、既に高齢化率が50%を超える集落も存在しています。

このことから、東部地区における交流人口の拡大を図り、経済的効果を上げるため、平成24年に食堂を併設した物産館を町が整備することになりました。

この物産館のオープンを機に地元住民で「東部地区活性化協議会」を立ち上げ、地域住民による手づくりの地域づくりが出来ないか検討を行いました。その結果、物産館に併設される食堂でこの地域でしか味わえないような食べ物等を提供する取り組みを行うこととしました。

取り組みの内容

東部地区活性化協議会の会員約80名の大半は高齢者で占められていますので、比較的栽培に手間のかからない「そば」に取り組むこととしました。まず、平成23年度に、「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」（起業に向けた育成段階）を活用して、栽培技術から調理技術等の検討を行いました。その中で、出来上がった「玄そば」をそのまま売るだけでは利益率が低く、加工から販売まで商品として一貫して取り込むことによって利益が見込めるということがわかりました。

このようなことから、平成24年度に、地域内で「そば」の栽培から加工・販売まで行うため、同補助金（起業化段階）を活用して製粉・製麺のための機材や、食堂のテーブルなどの購入を行い、平成24年11月3日に美里物産館「よんなっせ」内に「そば処みさと」（食堂）をオープンしました。

具体的な内容

- 1) そばを中心とした地域産品を使った食事の提供に必要な機材等の購入
- 2) 開業に向けたチラシ作成、ホームページの作成

取り組みの成果

農産物や加工品の出品による利益は、高齢者などの「生きがいづくり」につながっています。「そば」への取り組みは、まさに生産・加工・販売の6次産業化を実践したものであり、町内においてモデル的な取り組みになると同時に、栽培面積の拡大は耕作放棄地対策に寄与しています。



そば打ち



美里物産館「よんなっせ」



美里物産館「よんなっせ」のスタッフ

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野（取組名）：起業の誘発（コミュニティ・ビジネス起業化の取組み）
- ◆事業費（補助対象経費）：9,519千円
- ◆補助金（交付決定額）：5,137千円
- ◆取組団体名：東部地区活性化協議会（美里町）

里山レストラン事業

【取組団体：菅地区山村交流ビジネス協議会（山都町）】

廃校舎で郷土料理弁当をつくり、屋外も含めて菅の集落の全てをレストランとし、さらには地域の農家の方々とお客が交流をしながら食事ができる「菅里山レストラン」の開設に向けて取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

山都町菅地区は、「全国棚田百選」にも選定され、上質の棚田米を産する美しい棚田景観を有している中山間地域です。しかし、地形的に大規模化などの効率的農業が不可能であるとともに、いわゆる限界集落であることから、地域の魅力を生かした更なる活性化の取り組みが必要となっていました。

取り組みの内容

そこで、新たなビジネスとして、地域の高齢者が菅地区の食文化・生活文化という菅ならではの魅力・潜在力をフルに活用し、農産物、林産物の付加価値を高めて提供する「菅里山レストラン」を開設することにしました。

平成22年9月から菅地区においては、会員7軒の農家で縁側カフェをオープンしており、農繁期を除き毎週日曜日に農家の縁側を開放し、山村交流の取り組みを開始していたところです。今回、この交流ビジネス事業を拡大していくため、菅の集落全体を野外レストランに見立てた「菅里山レストラン」を、廃校となった白糸第二小学校を活用してオープンしました。この事業では、専門家を招へいし料理メニューの開発や、弁当の調理に必要な機材の購入などを行いました。

具体的な内容

- 1) 料理開発のための専門家の招へい、試食会の開催
- 2) 里山レストランをオープンするために必要な機材等の購入
- 3) マスコミ等を招致しての聞き取りや情報発信など

取り組みの成果

いわゆる限界集落といわれる菅地区において、里山レストランを開設したことにより、年間約1,700人程度の方々が県内外から訪れるようになりました。それにより、地域の農産物が動き出し、外部からのお金も少しずつ流入してきたことで、地域の将来に可能性があることが見えてきたと感じています。



菅地区の風景



弁当作り



菅地区山村交流ビジネス協議会の菅さん

- ◆事業年度：平成23年度
- ◆分野(取組名)：起業の誘発（コミュニティ・ビジネス起業化の取組み）
- ◆事業費(補助対象経費)：2,385千円
- ◆補助金(交付決定額)：2,385千円
- ◆取組団体名：菅地区山村交流ビジネス協議会（山都町）

あんぽ柿「ほっぺ」による起業化の取り組み

【取組団体：菊鹿町干し柿研究会（山鹿市）】

高品質の渋柿をあんぽ柿（干し柿）としてブランド化するとともに、2級品のあんぽ柿を活用した加工品開発に取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

山鹿市菊鹿町では、中山間地域農業の活性化のため、高齢者でも取り組みやすい品目である渋柿の栽培が盛んに行われています。

特に木山集落では多くの農家が渋柿を栽培し生柿のまま販売していますが、生柿のままでは年ごとに価格の変動が大きく収入が安定しないため、この渋柿を活用した特産品の開発が必要となっていました。

取り組みの内容

そこで、平成22年度に、生柿1トン(約4,500個)の加工試験を行ったところ、水分が4割以上残る、軟らかくてしっとりジューシー、しかも自然の甘さで上品な味わいのある赤色の干し柿に仕上がりました。出来上がった干し柿は、試験販売や評価会を通して商品化の可能性が高く感じられたことから、渋柿の加工・販売を目指すこととしました。

出来上がりの外観をイメージして「菊鹿町のほっぺ」と名付けた干し柿を、山鹿市のブランド商品として育てていくために、「菊鹿町干し柿研究会」を11名（うち65歳以上の高齢者9名）で立ち上げ、加工・販売していくこととしました。

この事業では、管内の農産物直売所、熊本市内や福岡市内の百貨店等で販売できるようにしていくために、「ほっぺ」の商標登録の取得、パッケージデザインの制作、商談会や試食宣伝のための試作製造、「ほっぺを使ったアイス」の試作開発などを行いました。

具体的な内容

- 1) 「ほっぺ」の商標登録取得
- 2) 「ほっぺを使ったアイス」の試作開発及び検討
- 3) パッケージ・シールのデザイン制作、紹介用パンフレットの制作 など

取り組みの成果

「ほっぺ」のブランド化に成功したことにより、地元高齢者の就業の場を確保することができ、地域の農業収入の増加につながりました。また、次年度は、会員発案で規格外品の新たな加工品開発を行うなど、会員の積極的な取り組みが生まれています。

現在では、菓子製造業者等との取引も増えてきており、年間4万個の「ほっぺ」を製造しています。将来は年間10万個製造を目標に取り組んでいます。



渋柿の皮むき作業



あんぽ柿「ほっぺ」



「菊鹿町干し柿研究会」のメンバー

- ◆事業年度：平成23年度
- ◆分野(取組名)：起業の誘発（コミュニティ・ビジネス起業化の取組み）
- ◆事業費(補助対象経費)：2,971千円
- ◆補助金(交付決定額)：2,588千円
- ◆取組団体名：菊鹿町干し柿研究会（山鹿市）

阿蘇の地域性を生かした郷土料理レトルト加工食品事業 【取組団体：NPO法人にしはらたんぼぼハウス（西原村）】

阿蘇の郷土料理を、山間地域のひとり暮らし世帯や高齢者等に提供するとともに、災害時の食料備蓄として福祉施設等に提供するため、缶詰やレトルト食品の加工に取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

西原村の山間部地域では過疎化・高齢化が進んでおり、買い物ができる商店が近くにない状況にあります。現在、食料品は週に一度の移動販売に頼っており、日持ちのする缶詰やレトルト食品としてだけでなく、災害時の備蓄品としても、高齢者に好まれる保存性の高い食品の提供が望まれていました。



俵山カレーのルー作り

取り組みの内容

山間部地域の方々や、高齢者の方々の食料備蓄品として、また、地域の物産館、道の駅、都市スーパーなどでの販売、災害時の食料備蓄品や支援物資として福祉施設等への販売などを行っていくため、阿蘇の郷土料理である、のっぺ・だご汁・おでん（馬肉入り）などのレトルト食品（缶詰）や、お粥のレトルト・炊き込みご飯の缶詰製造に地域の高齢者や障がい者とともに取り組みました。

具体的な内容

- 1) 缶詰、レトルトパックを行うための備品の購入
- 2) 「阿蘇のっぺ」、「阿蘇おでん」等の商品開発
- 3) パッケージデザインの制作 など

取り組みの成果

阿蘇の特産品である赤牛や大阿蘇とり・肥王豚・馬肉を使った「俵山カレー」や馬すじこんにゃくの煮込み等を缶詰やレトルト食品にして地元物産館「萌の里」などで販売しています。お土産用や災害備蓄品として購入される方も増えてきており、夏季に行われた、西原村社会福祉協議会の災害訓練の場でも、「レトルトカレー」を炊き出しで実演されました。

地域の方の評判もよく、また徐々に物産館のお客様のリピーターが増えています。

新たな販売ルート拡大としては、東京の「銀座熊本館」や西原村のアンテナショップ「はらじゅく畑」にも納品ができるようになりました。今後、東京都市圏の方が熊本の郷土料理をいつでも手に入れられるよう様々な商品を地域の方と一緒に開発していきます。



馬すじこんにゃく煮込みの缶詰



たんぼぼハウスのなかまたち

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野(取組名)：起業の誘発
(地域の支事おこしの取組み)
- ◆事業費(補助対象経費)：2,699千円
- ◆補助金(交付決定額)：1,349千円
- ◆取組団体名：NPO法人にしはらたんぼぼハウス(西原村)

イグサアロマの開発

【取組団体：MAG（八代市）】

イ草の加工工程で発生する規格外品を用いた新商品として、イ草のアロマオイルの開発に取り組む事業

地域の現状（取り組みの背景）

八代市はイ草生産全国一位を誇っていますが、近年の中国産イ草の流通や豊離れなどにより、八代を代表するイ草の需要が減少している状況にあります。そのような中、イ草生産農家として生き残っていくためには、イ草を活用した新たな商品の開発が課題となっていました。

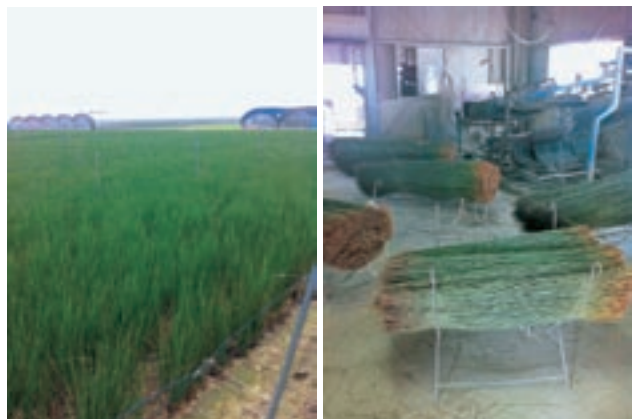
取り組みの内容

このことから、豊表の製造過程で廃棄していたイ草の再利用を含め、環境に配慮した今までにない新商品を開発していくために、生産地域の若手農家と発想の異なる女性の視点から、新たなイ草の効能を活かした商品を開発することとしました。

当初、アロマオイルを開発しようと試みましたが、オイルは非常に微量しか抽出できないことが判明したため、オイル抽出前のアロマウォーターを使用して、天然成分のアロマオイルを調合したアロマスプレーを商品化することとしました。現在、インターネットを中心に販売しています。

具体的な内容

- 1) 試作開発に係る経費
(アロマ抽出機のリース、試作用容器購入等)
- 2) アロマセラピストによる講習会
- 3) イグサアロマ成分分析に係る経費 など



日本一のイ草産地

取り組みの成果

インターネットでの販売に加え、大手雑貨店や県内外の物産展などのイベントでの販売により、着実な販売実績とイ草生産地のPRにつながっています。特に、インターネットの販売においては首都圏の顧客が多いことから、更なる販路拡大についての検討を行っています。また、販売価格に付加価値をつけるため、新たにイ草のサシェ（香り袋）を付けた贈答用の商品の販売も開始しています。



抽出作業風景



アロマウォーター・イ草サシェ（香り袋）

- ◆事業年度：平成23年度
- ◆分野(取組名)：起業の誘発（農業の地域資源（宝）活用の取組み）
- ◆事業費(補助対象経費)：1,600千円
- ◆補助金(交付決定額)：750千円
- ◆取組団体名：MAG（八代市）

特集

九州オルレを活用したインバウンドフォーラム事業

【取組団体：上天草市】

維和島が県内で唯一「九州オルレ」に認定されたのを機に、インバウンドフォーラムや現地視察の実施により、認知度の向上や観光客受入体制の整備を図る事業

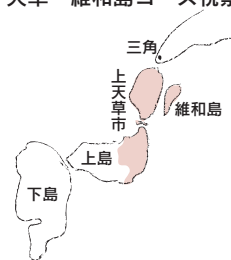
上天草市では、「九州オルレ」として大矢野町維和島が認定されたのを機に、県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用して「九州オルレを活用したインバウンドフォーラム in 上天草」の開催や案内人の育成を行っています。この取り組みに至った背景や取り組み内容などを、上天草市観光おもてなし課の西釜さんと、オルレの案内人である維和地区まちづくり委員会の鬼塚さんにお聞きしました。



天草・維和島コース視察



インバウンドフォーラム



ビッグチャンスを生かすために

韓国・済州島発祥のオルレは、「家に帰る細い道」という意味を持つトレッキングのことです。「平成23年3月の九州新幹線全線開業や、観光特急「A列車で行こう」の運行に次いで、平成24年2月に維和島が「九州オルレ」に認定されるというビッグチャンスを生かし、本市の強みである「食」と「自然」を生かした地域振興の追い風になると思いを企画しました」と西釜さんがきっかけを語ってくれました。

地域づくり団体の刺激となり、地元の活動も本格化

上天草市では、県の補助金で、韓国や国内の観光関連事業者等を招いたフォーラムの開催（参加96名）とオルレコースの視察（参加195名）を行い「九州オルレ」の認知度向上を図るとともに、受入先となる地元案内人の育成などの受入体制の整備も併せて行われています。その案内人である鬼塚さんは「これまで、地区のまちづくり事業として維和島を紹介したパンフレットの作成やコースづくり、案内活動をやっていましたが、本格的に旅行者を案内できるようになったのは「九州オルレ」に認定されてからなのです」と語ってくれました。



「維和島まちづくり委員会」の鬼塚さん

「九州オルレ」で広がる地域づくり

「今回、維和島コースと上天草市の魅力を国内外に強くPRできたことと併せて、市民の方々の関心が高まったことが良かったと感じています。地域の理解が進んだことで、新たに「九州オルレ」松島コースの認定にもつながっています」と西釜さん。鬼塚さんは「韓国や関西などから多くの人がこの島を訪れるようになり、地域のお年寄りも喜んでいきます。今後は持続可能なものにするために、今やっている認定記念みかんの木オーナー制度のほかに、朝市の開催などを考えています。また、フォーラムで（社）済州オルレの徐理事長から民泊をやってほしいと言われたので、民泊を始めたのですよ」と活動の広がりをうれしそうに話されていました。

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野（取組名）：交流の拡大（交流促進の取組み）
- ◆事業費（補助対象経費）：2,460千円
- ◆補助金（交付決定額）：1,200千円
- ◆取組団体名：上天草市（観光おもてなし課）

モンタナ州との恐竜交流事業

【取組団体：御船町】

米国モンタナ州の博物館等から化石標本の提供や技術的な指導を受けるとともに、地域住民への普及セミナー・体験セミナーを行う事業

地域の現状（取り組みの背景）

上益城地区に広く分布し豊富な恐竜化石を産出する御船層群は、世界的にも貴重な化石を有する日本を代表するものとして評価されています。平成26年度の新恐竜博物館のオープンを見据え、この地域資源を活用して地域の方々に世界とのつながりに気付いてもらう活動や、県外から来訪者を呼び込む活動に取り組みました。

取り組みの内容

「恐竜」というテーマでモンタナ州立大学附属ロッキー博物館との交流を推進しました。交流によって得られた借用資料や人的交流などを基礎として、楽しみと学び（エデュテインメント）を創出し、県外からの来訪者を呼び込み、地域の活性化につなげることができました。

ロッキー博物館から恐竜の化石を含んでいる岩石を借用し、ロッキー博物館の展示部長及び専門技術職員から、化石クリーニングや複製製作に関する技術的な指導を受け、人材の育成を図りました。

また、交流の機会を創出するため、セミナーを企画し、県内外の関係機関等を通じてポスター及びチラシの配布による広報活動を行いました。セミナーではモンタナ州立大学附属ロッキー博物館展示部長の講話、化石のクリーニング・レプリカ作り体験を実施し、クリーニング室を公開しました。



館内

具体的な内容

- 1) ロッキー博物館の専門職員による技術指導
- 2) セミナー告知(チラシ・ポスター等) など



化石のクリーニング作業

取り組みの成果

地域住民や来館者がグローバルな視野で恐竜を楽しみ「恐竜」という共通の話題による感動を共有する場を設けることができました。海外の化石標本を用いた展示会は各地で開催されていますが、未処理の化石を借用し長期にわたって恐竜研究の現場を見せる展示は全国でも初の試みであり、新たな展示のモデルケースとなっています。ロッキー博物館と姉妹館提携を結び事業が継続発展していること、ブランドイメージの醸成が進んだことも取り組みの成果となりました。平成26年4月の新たな恐竜博物館のオープンを機にリピーターを始め多くの見学者が期待できます。



現在の恐竜博物館

- ◆事業年度：平成23年度
- ◆分野（取組名）：交流の拡大（交流促進の取組み）
- ◆事業費（補助対象経費）：3,760千円
- ◆補助金（交付決定額）：1,880千円
- ◆取組団体名：御船町（社会教育課）

南小国町「美しい村」再発見事業

【取組団体：南小国町まちづくり戦略策定部会（南小国町）】

地元住民が自らの手で美化や資源を磨いてもらうきっかけとして、南小国町を23のエリアに区分けし、モデルツアーを実施し、ツアー参加者に審査してもらう事業

地域の現状（取り組みの背景）

南小国町は「日本で最も美しい村」連合に加盟するなど自然豊かな山間部にある町です。しかし、この豊かな南小国町の「美しさ」を維持し、さらに磨き上げていくためには、各集落、地域ごとの自らの意識啓発、美化活動がかかせません。この活動を地域全体で維持・継続していくためには地域住民の理解促進と地域が連携して取り組む体制づくりが必要でした。



集落コンテスト

取り組みの内容

そこで、5年に一度行われている「日本で最も美しい村」連合の審査以上に、地域の隅々まで評価を行うことによって、地域の受入体制の整備や、都市部と農村が支え合って自立できるような体制づくりに取り組むこととしました。

南小国町を23の集落に区分けし、全ての集落を景観やまちづくりに関する専門家の方々に巡回していただき、各集落の美観審査や地域住民との意見交換を行うことで地域の魅力を再発見する「南小国町で最も美しい集落」コンテストを実施しました。

また、南小国町の宿泊所に滞在される方々を対象に、南小国町の史跡や伝統文化などを案内するオプションツアーを実施しました。

今回のコンテストの開催により、南小国町に秘められた地域資源の発掘につながるとともに、「黒川温泉^{おしと}押戸石満月ツアー」などのオプションツアーの実施により、黒川温泉と周辺地域とが連携した新たな魅力づくりにつながりました。

具体的な内容

- 1) 「南小国町で最も美しい集落」コンテストの実施
- 2) 黒川温泉オプションツアーの実施



押戸石ツアー

取り組みの成果

集落コンテストを行った結果、地域の住民だけでは気づくことのできなかった地域の魅力や宝物を外部からの視点で発見することができ、地域の人々の誇りや自信につながるとともに、集落毎の清掃活動や自発的なイベントの取り組みなどにつながっています。

また、押戸石や吉原神楽など、これまで観光的な活用が少なかった地域資源を活用して、定期的なイベントを自主的に行うなど、温泉地と連携した取り組みが進められています。



神楽ツアー

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野（取組名）：交流の拡大（交流促進の取組み）
- ◆事業費（補助対象経費）：1,300千円
- ◆補助金（交付決定額）：650千円
- ◆取組団体名：南小国町まちづくり戦略策定部会（南小国町）

天草観海アルプストレッキングイベント ～山ガールサミット in 上天草～事業

【取組団体：上天草市】

天草観海アルプスを新たな観光資源として捉え、その認知度を高め、魅力あるルートを全国へ発信するため、山ガールをキーワードとしたイメージ戦略による集客や既存公共交通機関を活用した取り組みを行う事業

地域の現状（取り組みの背景）

九州新幹線の全線開業や観光特急「A列車で行こう」の運行により、これまで減少傾向にあった上天草市の観光宿泊客数は増加に転じました。この効果を一過性のものとしないうちに、不知火海が一望できる天草観海アルプスを新たな観光資源として捉え、この地域資源を実際に体験してもらうため、女性のファッションに注目した取り組みを行いました。



天草観海アルプスの風景



「山ガールサミット」トレッキングイベント



「山ガールサミット」
ステージイベント

具体的な内容

- 1) トレッキングイベントの実施運営
(会場設備、体験案内等)
- 2) トレッキングイベントのPR

取り組みの内容

近年の登山ブームを受け、若い女性の中ではおしゃれな着こなしをして山に登る「山ガール」と呼ばれる登山愛好家も登場しています。このようなトレッキングの若年層への広がりを受けて、平成24年10月27日～28日に天草観海アルプスのトレッキングイベントを開催しました。「日本初の山ガールサミット」と銘打ち、日本全国から参加者を呼び掛けるとともに、ファッション的要素も取り入れた内容とすることで、山ガールの聖地としてのイメージ戦略を展開しました。トレッキングイベントでは参加者210名に、「海を眺めながら、歩くことができる」という貴重な天草観海アルプスルートを経験してもらいました。併せて、九州新幹線、観光特急「A列車で行こう」、天草宝島ライン等、既存の交通機関を活用することで、上天草市までの交通アクセスの魅力もPRしました。

取り組みの成果

新しい取り組みであることから、女性向けトレッキング専門誌や旅行雑誌、新聞などのメディアを活用して情報を発信することができました。これにより、低山でありながら、特色あふれる登山道や山頂からの眺望がビギナーや女性の登山愛好家にとって、魅力的なトレッキングエリアであることを広く全国へPRできました。また、降雪がなく冬でも安心して登れる山としての知名度も高まり、冬から春にかけてオフシーズンとなる観光業の新たな誘客コンテンツとして確立しつつあります。

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野(取組名)：交流の拡大(交流促進の取組み)
- ◆事業費(補助対象経費)：4,774千円
- ◆補助金(交付決定額)：2,387千円
- ◆取組団体名：上天草市(観光おもてなし課)

特集

網田地域拠点づくり事業

【取組団体：宇土市】

地元のまちづくり団体をはじめとする地域住民が地域活性化に向けた取り組みを行うことができる拠点として網田駅を再整備する事業



網田駅レトロ館・駅カフェ



網田駅



「NPO法人網田倶楽部」のメンバー
(中央：園田さん)

宇土市では、JR三角線網田駅の駅舎の一部を地域の交流スペースとして活用するため、県の「地域づくり夢チャレンジ推進補助金」を活用して施設の改修を行っています。現在は、「網田レトロ館」と称して地元住民で組織するNPO法人網田倶楽部により運営されています。この取り組みに至った背景や取り組み内容などを宇土市まちづくり推進課の光井さんと網田倶楽部の園田さんにお聞きしました。

集落機能の低下に歯止めをかけるため

「網田地区は、市内7地区の中で最も人口減少の激しい地区で、それに伴う集落機能の低下という課題がありました。そのような中、網田地区のシンボルである県内最古の木造駅舎の活用が地域から求められていたことから、市としても地域コミュニティを活性化する拠点として活用してもらいたいと思い、県の補助金の趣旨にも合致していたので事業化を目指すことにしました」と光井さんがきっかけを語ってくれました。

子どもからお年寄りまで気軽にあつまれる場所

宇土市は、事業化にあたりJR九州から木造駅舎を買い取り、県の補助金で、駅舎の床や壁を改修し集会所や活動拠点として再整備しています。「網田を愛する人々の集まりである「網田倶楽部」というまちづくり団体があり、以前から地域のために様々な活動をされていましたので、駅舎の管理を委託して、この場所を交流拠点として活用してもらうこととしました」と光井さん。その網田倶楽部の中心的な存在である園田さんは「老人会の集まる場所として利用されたり、JRで通学する子ども達の学習の場として利用されたりしています。毎週りハビリを兼ねて自宅から歩いてこられるお年寄りの方もいらっしゃいますよ」と語ってくれました。

駅舎が人で賑わう場所に蘇る

撮影に訪れた日も、近所の子ども達だけのグループや、お年寄りのグループ、家族連れなどたくさんの方々と賑わい、地域の憩いの場となっていました。「多くの方々から気軽に立ち寄れる場所ができてよかったという声が届いており、地域のコミュニティの活性化につながっていると感じています」と光井さん。園田さんからは、「地域の会話や交流が更に増えたと感じています。たくさん世代の方が集まれるよう、子どもへの絵本の読み聞かせができるように準備をしているところです」とうれしそうに話されていました。

◆事業年度：平成24年度

◆事業費（補助対象経費）：4,261千円

◆取組団体名：宇土市（まちづくり推進課）

◆分野（取組名）：絆の構築（地域コミュニティ維持の取組み）

◆補助金（交付決定額）：2,000千円

つきぎ 槻木の夢ビジョンづくり事業

【取組団体：多良木町】

多良木町槻木地区において、大学と連携し、現地アンケート調査、地域住民のワークショップによる集落点検等を行い、ビジョンを作成する事業

地域の現状（取り組みの背景）

槻木地区は、町の中心部から約20km離れた山里の地域で、高齢化率は65.3%という3人に1人が高齢者という状況にあり、地域コミュニティの維持が難しくなっている地区です。そこで、地域の再生を図るため、町が中心となって地域住民による将来のビジョンづくりを行うこととしました。

取り組みの内容

槻木地区に暮らす人々の生活実態を調査・検証し、地域の維持存続に向けた道筋を提案していくために、熊本大学に調査研究事業として委託しました。

具体的には、住民アンケートや聞き取りによる調査、地域住民とのワークショップを通じた集落点検を行い、地域課題を抽出・分析・検討した結果を槻木の夢ビジョンとしてまとめました。

槻木地区は、30～50代の世代が住んでおらず、また高齢化が進んでいる地域であることから、ビジョンでは小規模高齢者福祉施設の整備（高齢者福祉サービスと従業員の定住化計画）、ソーシャルワーキング型専門職員（ムラづくりの専門家）の雇用などといった提案が行われました。

具体的な内容

アドバイザーへの委託
(講演会、調査、計画書作成等)



地域で生き抜くシンポジウム

取り組みの成果

提案された槻木地区夢ビジョンに基づいて、平成24年度に移住定住が可能な空き家の調査を行いました。平成25年度においては、福祉によるまちづくりをテーマとした「地域で生き抜くシンポジウム」を実施して槻木地区の方向性を町全体で共有化し、併せて槻木地区に居住しながら活動をしてもらう集落支援員の募集を行い、介護支援専門員等の資格を持つ福祉経験者を迎え入れることができました。

今後は集落支援員を中心に、行政と地域住民が一緒になって、福祉と地域づくりの課題解決に向けた施策を実施していきたいと考えています。



ワークショップ



集落点検報告会

- ◆事業年度：平成23年度
- ◆分野(取組名)：絆の構築
(地域づくり計画作成の取組み)
- ◆事業費(補助対象経費)：2,244千円
- ◆補助金(交付決定額)：1,496千円
- ◆取組団体名：多良木町(企画観光課)

創作ステージふるさと詩集(うたあつめ)Vol.4「あらお・ありがとう・あしたへ」 ～荒尾市制施行70周年目の今 ふりかえる故郷～

【取組団体：荒尾総合文化センター指定管理者 中央設備 ステージ・ラボ共同体（荒尾市）】

市制施行70周年を記念して、舞踊、朗読、演劇、合唱等の市民参加型創作ステージを作り上演する事業

地域の現状（取り組みの背景）

荒尾市では、30年以上活動している市民劇団をはじめ、日本舞踊や合唱など様々な団体が活発に活動していますが、これらの団体間の連携や広く市民が参加する取り組みはなく、多くの市民にいかに普及し取り組んでもらうかが課題でした。

そこで、市制施行70周年を機に、地域の良さや誇りを再認識することを目的に市民参加型の創作ステージを行うこととしました。



舞台セット 梨の花作り講習

取り組みの内容

テーマは「ふるさと」として、地域の文化資源を掘り起こすとともに、多くの方々の参加で一つのステージを創り上げることにより、異業種や世代を超えて人と人とのつながりの輪を広げ、“絆”を強くすることで文化力の向上を目指しました。

約2ヶ月前から毎週、演劇等の練習を重ね、平成24年10月21日に662名の観客の前で発表することができました。

ステージでは、荒尾市が市制施行70周年という記念の年を迎えていたことから、70年前に焦点をあて、終戦までの激動の時代の中で、本市にある歴史的建造物（世界文化遺産登録を目指している「万田坑」など）を舞台に、その時代を生きた人々の愛と青春、人と人とのつながりを描いたストーリーを展開しました。

また、エンディングでは、荒尾市の花である「梨の花」を舞台いっぱいに散りばめた中、出演者・スタッフ総勢220名による全員合唱でステージを締めくくりました。

具体的な内容

- 1) 演出用映像機器等の舞台設備リース
- 2) 振付及び演技指導
- 3) 宣伝告知(ポスター・チラシ等) など



創作ステージ（母の記憶）

取り組みの成果

出演者から裏方のスタッフまで多くの市民や団体の参加と協力によりステージを創り上げたことで、地域の文化向上やまちの元気づくりに貢献できました。

また、「万田坑」や「荒尾^{にぎう}二造」などの文化・歴史遺産を啓発し、郷土愛を深めることができました。更に平成25年度も創作ステージ「荒尾干潟物語」を公演しましたが、今回は市民有志による創作ステージ公演実行委員会による公演が実現したことで、市民の参加と文化の裾野が広がりました。



創作ステージ（フィナーレ）

- ◆事業年度：平成24年度
- ◆分野(取組名)：絆の構築(地域活性化につながる文化活動の取組み)
- ◆事業費(補助対象経費)：381千円
- ◆補助金(交付決定額)：190千円
- ◆取組団体名：荒尾総合文化センター指定管理者
中央設備 ステージ・ラボ共同体(荒尾市)

補助金採択事業一覧 (H23～H25)

移住の促進

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
空き家の活用						
1	産山村	産山村	H23	「ヒゴタイの里うぶやま」 住んでみたいむらづくり事業	村内の空き家を調査し、賃貸可能な物件のうち4軒について町が借り上げ、改修工事を行って移住希望者に賃貸住宅として提供。	10,400,000円
2	南阿蘇村	南阿蘇村	H23	移住定住空き家活用調査事業	空き家調査を行い、移住希望者等へ情報提供等を行うための、地図・データベースを整備。	1,141,066円
3	菊池市	菊池市	H24	空き家を活用した定住化促進事業	中山間地域の空き家調査及び利用希望者のマッチングを行う。	940,000円
4	菊池市	菊池市	H25	移住定住のマッチング事業	NPO等と連携して、空き家、空き店舗の物件調査や、就農体験プログラムなどの情報提供を行い、移住希望者と受け入れ先のマッチングを行う。	906,000円
5	苓北町	苓北町	H25	移住定住空き家活用調査事業	移住希望者のあらゆるニーズに対応できるよう、空き家調査を実施し、正確な空き家の情報を取得するとともに、地図のデータベース化を行う。	770,000円
受入体制づくり						
6	宇土市	宇土市	H23	定住対策調査研究事業	市内の住宅適地から最適地の絞り込み、定住施策の方針を策定。	2,450,000円
7	長洲町	長洲町	H23	長洲町住まいづくり基本計画策定事業	町内への移住・定住を促進するため、宅地開発等を含めた住まいづくりに関する総合的な基本計画を策定。	2,666,666円
8	天草市	天草市	H23	天草島島移住・定住システム創造事業	3地域程度をモデル地区として選定し、ワークショップ等を行いながら受入の体制づくりを実施。	2,666,000円
移住の施策（体験ツアー・情報発信等）						
9	上天草市	上天草市	H23	上天草市移住促進事業	「上天草市セカンドライフ支援ネットワーク（移住者の会）」と連携し、都市部在住者を対象とした田舎暮らし体験ツアーを実施。また移住ポータルサイトの整備等を実施。	2,006,000円
10	和水町	和水町	H24	和水町「田舎暮らしのすすめ」事業	田舎暮らしモニターツアーを実施するとともに、これを利用しながら地域コミュニティでの受入体制の検討を行う等、移住施策に体系的に取り組む。	1,192,000円
11	苓北町	苓北町	H24	関西ふるさと苓北Uターン事業	関西ふるさと苓北会会員を対象としたUターンツアーを実施するとともに、町外向けの移住パンフレットを作成。	677,000円
12	山都町	山都町	H25	山都町移住定住情報交流サイト構築事業	移住希望者のニーズを捉えた地域情報の発信、移住者間交流の場を提供するため、ICTシステムの構築を行う。	1,733,000円
13	和水町	和水町	H25	『おいでよ！和水で田舎暮らし』推進事業	大都市圏での和水町の移住定住施策をPRするため、移住定住フェアへの参加やパンフレットを作成するとともに、空き家を活用した田舎暮らしお試し体験等を行う。	502,000円
14	天草市	天草市まちづくり協議会連絡会	H25	テレビ番組の誘致による移住定住促進事業 ～もてもてナインティナイン (天草の花嫁・お見合い大作戦！)～	市内の第1次産業従事者を中心とした独身男性にパートナーと出会う機会を提供し、移住定住につなげるとともに、全国に天草市の魅力をPRするため、テレビ番組を誘致。	2,886,000円

補助金採択事業一覧 (H23～H25)

起業の誘発

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
地域食レストラン等						
15	宇城市	下萬屋(したよろずや)	H23	松合の食と町並みを生かした交流拠点づくり	地域食を提供するレストランの開業および松合地区を知ってもらう着地型集客交流事業の実施。	2,210,823円
16	山鹿市	一般社団法人ひらおぎ会	H23	だっこひゃーご平小城「コミュニティレストランの創設」	車の運転が出来ない高齢者や山鹿・平山温泉を訪れる観光客に対し、地元の農産物を使った食を提供するコミュニティレストランの開業。	5,488,296円
17	山都町	菅地区山村交流ビジネス協議会	H23	里山レストラン事業	廃校舎で郷土料理弁当をつくり、菅の集落の全てを野外レストランに見立てて食事ができる「里山レストラン」を開業。	2,385,000円
18	宇土市	船場川『蔵』の会	H24	船場川の風情を活かした古蔵再生事業	コミュニティカフェをメインとした、地域密着型の多目的交流館をオープン。	5,000,000円
19	美里町	東部地区活性化協議会	H24	美里の里の逸品で地域おこし事業	そばを中心とした地域産品を使った食事の提供及び加工品の販売。	5,137,000円
20	宇城市	豊野deとよの	H25	豊野の食文化を継承・発信する拠点づくり事業	アグリパーク豊野(物産館)で、地域食をバイキング形式で提供するレストランの開業を目指し、メニューの研究や試作、試食会の開催、販売戦略の検討などを行う。	1,000,000円
農林水産物等の活用						
21	玉名市	上古閑宝さがし委員会	H23	薬草と温泉の郷づくりに向けた高付加価値薬草の採取・栽培・加工による高齢者コミュニティ・ビジネスの起業化事業	薬草カレー用の薬草の採取・栽培、薬草入浴剤・薬草茶の加工など、高齢者による高付加価値薬草の採取・栽培・加工。	4,271,200円
22	山鹿市	菊鹿町干し柿研究会	H23	あんぼ柿「ほっぺ」による起業化の取り組み	高品質の渋柿をあんぼ柿(干し柿)としてブランド化するとともに2級品のあんぼ柿を活用した加工品を開発。	2,587,865円
23	八代市	五家荘地域振興会	H23	五家荘・夢チャレンジ事業	五家荘地域内の6地区毎に特徴ある特産品づくり(梅干し、干し柿、タケノコなどの商品化)を実施。	2,829,000円
24	水俣市	村丸ごと生活博物館協議会	H23	夢・村チャレンジ推進事業	「村丸ごと生活博物館」の各地区から特産農産加工品(伝統料理)を選定し、「村丸ごと家庭料理セット(飯称)」として商品化。	1,858,000円
25	芦北町	大岩地区むらづくり協議会	H23	みんな集まれ!小さな産物づくり事業	耕作放棄地で大豆・麦を栽培、それを原料とした安全安心な味噌を生産・販売。	1,872,000円
26	あさぎり町	あさぎり町松尾集落	H23	遠山桜で限界集落の挑戦。ワラビの酢漬けで地域を繋ごう。	茶畑の中の1本桜「遠山桜」で知られる松尾集落で、ワラビの酢漬けや、山菜・栗・お茶を利用した加工品の開発・販売。	1,430,119円
27	上天草市	ジューシー&フルーツおおやの	H23	あまくさ晩柑を使った新商品開発事業	あまくさ晩柑や白桃の規格外品を使った加工製品の改良、新商品の開発・販売。	2,324,000円
28	阿蘇市	阿蘇の野菜と産物を生かす会	H25	阿蘇の農産物を使ったスムージーとスープの試作品開発事業	阿蘇市で栽培されている無農薬野菜、有機野菜等から出る規格外の野菜や果物を活用して、スムージーやスープといった加工品を開発。	877,000円
29	小国町	黒淵農産加工所運営協議会	H25	廃校を利用した地域活性化の為に農産加工事業	廃校となった小学校の教室を改修し、農産加工所(惣菜加工部門、菓子加工部門、漬物加工部門)を開業。	903,000円
30	美里町	美里町	H23	美里町におけるそばを核とした地域おこし(そばの里づくり)	耕作放棄地でそばを栽培し、そばの製麺を含む商品化等を検討。	594,000円
31	玉名市	玉名市大浜町農業協同組合	H23	イチゴとトマトの規格外品の有効利用プロジェクト	イチゴ及びトマトの規格外品について、他産業と連携し、新規加工品を開発。	750,000円
32	産山村	産山村	H23	「産山わさび」商品開発・流通調査事業	新規作物としてわさびを導入し、「草牛」と連携したセット商品の開発を実施。	200,000円
33	高森町	高森新商品開発部	H23	もっと、高森農「縁」もりだくさん!	高森産のトマト、ネギを使用し、トマトのシロップ漬けやネギの漬物等の新商品開発を実施。	210,000円
34	南阿蘇村	南阿蘇村	H23	ブラックベリーで南阿蘇をベリーな村に変えるプロジェクト	新規作物として、女性や高齢者にも労力負担の小さい「ブラックベリー」を導入。大学と連携した1次加工品の開発及び菓子業者等と連携した2次加工品の開発を実施。	240,000円

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
35	山都町	山都町	H23	山都町のお茶を使った商品開発事業	山都町の特産品である「茶」を用いた新商品の開発。	724,000円
36	八代市	MAG	H23	イグサアロマの開発	イ草の加工工程で発生する規格外品を用いた新商品としてイ草のアロマオイルの開発。	750,000円
37	八代市	八代六起	H23	トマト加工品プロジェクト	八代地域の特産品であるトマトの流通規格外品を活用し、トマトピューレ等の新商品の開発。	750,000円
38	水俣市	あしきた農業協同組合	H23	夢・農チャレンジ推進事業	特産品の早出しタマネギを作付けしていない期間に、抑制力ポチャを新たな特産品として開発。	750,000円
39	多良木町	農事組合法人 多良木のびる	H23	「0から生み出す」もったいないde“もの(特産品)”づくり事業	規格外の農産物を買上げ、加工して新たな特産品を開発。	240,000円
40	荒尾市	荒尾市オリーブ研究会	H24	荒尾産オリーブ6次化チャレンジ事業	今年から収穫可能となるオリーブでテーブルオリーブ(塩漬け)やオリーブオイルといった加工品を開発。	500,000円
41	山鹿市	菊鹿町干し柿研究会	H24	干し柿の新商品プロジェクト	干し柿の規格外品を活用した、加工品(和菓子)の試作開発。	259,000円
42	山鹿市	農事組合法人 中分田ファーム	H24	肥後の小豆で新たな特産品づくりをめざす	肥後の小豆を活用した加工品(菓子)の試作開発を行い、加工品向け原料としての市場調査も併せて行う。	112,000円
43	南阿蘇村	農業生産法人 (有)くぎのむら	H24	阿蘇あか牛を使った加工品開発	料理人による指導を受けながら、「あか牛」の特性を生かした加工品を開発。	660,000円
44	上天草市	上天草物産館 さんぱーる 出荷協議会	H24	地元農産物を活用した商品開発への取組み (地元のからいもを使った新商品開発事業)	天草地域で栽培されている「あめりか芋」と「湯島の人参からいも」を活用して、商品の大きさや包装方法にこだわったこぼもちを開発。	406,000円
45	玉名市	玉名農業協同組合	H25	そら豆菓子加工事業	玉名産の規格外の一寸そら豆等を活用し、地元産の黒糖、柑橘をコーティングした豆菓子の加工品を開発。	241,000円
46	山鹿市	山鹿市青年農業者 クラブ連絡協議会	H25	すいかの新しい特産品づくり	すいかの出荷時期に果実の出来具合を確認するために行う「玉割り」で発生するすいかを活用し、ドライフルーツの加工品を開発。	113,000円
47	産山村	産山村	H25	産山村「水耕栽培」 実証実験事業	村所有のガラスハウスで「リーフ系レタス」と「トマト」の試験栽培(水耕栽培)を行うとともに、アンテナショップでニーズ調査等を行う。	1,000,000円
48	南阿蘇村	南阿蘇農業経営勉強会	H25	トマトの加工品開発	トマトドレッシングやトマト粉末、発酵トマトなど、新たなトマトの加工品開発に向けた研究を行うとともに、物産館等でニーズ調査等を行う。	434,000円
49	上天草市	上天草物産館 さんぱーる 出荷協議会	H25	地元農産物を活用した商品開発への取組み (地元の野菜・果物を使った新商品開発)	地元の青果物を使った「乾燥野菜・果物」の加工品開発及び商品化に向けたパッケージの検討等を行う。	303,000円



補助金採択事業一覧 (H23～H25)

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
観光・体験商品等の開発						
50	八代市	NPOエスエスピー	H24	さかもと再生プロジェクト	坂本地域において、球磨川等の地域資源を活用した自然体験ツアーの商品開発。	841,000円
51	上天草市	NPO法人 KAプロジェクト	H24	「わくわくあまくさ体験教室」事業【育成段階】	上天草市内外の未就学児を対象とした運動教室及び体験教室による起業化を目指し、プログラムの実施検証等を行う。	799,000円
52	上天草市	NPO法人 KAプロジェクト	H25	わくわくあまくさ体験教室【起業化段階】	上天草市内外の未就学から小中高生までを対象とした運動教室及び自然体験教室を開設。	3,095,000円
高齢者等を対象としたサービス等						
53	錦町	町の台所あかり	H23	じーちゃん ばーちゃん みんなで町のあかりを灯そう	高齢者単身・高齢者夫婦世帯等に対し、安否確認と健康チェックを兼ねた配食サービスを実施。	4,321,059円
54	熊本市	熊本市北区植木町田原 校区社会福祉協議会	H25	高齢者支援のためのコ ミュニティビジネス化実 証実験事業	植木町田原校区において、オートコール（自動電話）システムを導入し、高齢者の健康状態の確認や、買い物代行、家事代行等のサービスを提供する実証実験を行う。	1,000,000円
55	山鹿市	特定非営利活動法人 くたみ流うちわ会	H24	くたみの実家 がまだしもんプロジェクト	高齢者世帯への温かい配食サービスを試行的に行うとともに、Facebookを活用し、東京在住の熊本県出身者等に農産物加工品を試行販売。	814,000円
56	菊池市	社会福祉法人 菊愛会	H24	障がい者と高齢者が共に取 組む地域の支事おこし事業	地域の高齢者と障がい者が協働し、そばを栽培し、そば粉等を販売するとともに、そば粉を使用した商品を開発し販売。	1,894,000円
57	西原村	NPO法人 にしはらたんぽぽ ハウス	H24	阿蘇の地域性を生かした 郷土料理レトルト加工食 品事業	阿蘇の郷土料理を缶詰やレトルト食品に加工し、山間地域のひとり暮らし世帯や高齢者等に提供するとともに、物産館等で観光客や、災害時の食料備蓄として福祉施設等に販売。	1,349,000円
58	熊本市	特定非営利活動法人 おーさあ	H25	おーさあ地域の縁がわ ソーシャルファーム事業	熊本市健康地域において、おーさあ喫茶内（地域の縁がわ）で、法人に集う若者とともに地元農産物等を活用した喫茶メニューを開発。	1,000,000円
59	芦北町	NPO法人ばらん家	H25	生き・イキ暮らし隊	地域住民と高齢者、障がい者との交流の場をつくる とともに、特産品の開発や雇用創出等を目指し、パンやピザ等の加工品を開発。	1,000,000円



交流の拡大

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
イベント・催し						
60	阿蘇市	阿蘇市健康づくりの郷推進委員会	H23	阿蘇市健康づくりの郷事業	国際健康スポーツ祭典を実施するとともに、新たな食を開発し、運動と食の両面から健康作りを推進。	4,000,000円
61	御船町	御船町	H23	モンタナ州との恐竜交流事業	米国モンタナ州の博物館等から化石標本の提供（借受け）や技術的な指導を受けるとともに、地域住民への普及セミナー・体験セミナーを実施。	1,880,000円
62	氷川町	氷川町農業振興協議会	H23	都市農村交流促進対策事業	物産館「氷川のしずく」を拠点とした物産フェアの開催や駅周辺を中心とした農産物の宅配事業のニーズ調査、特産品・観光PRポスターの制作を実施。	1,173,000円
63	湯前町	湯前町	H23	誘客促進に向けたマンガを活用したまちづくり事業	まんが美術館を拠点とするマンガをテーマにした地域活性化策の検討及びマンガ展の開催、漫画フェスタのリニューアル開催等を実施。	2,138,000円
64	上天草市	上天草市	H23	松島樋合地区交流拠点づくり事業	交流拠点のフィッシャリーナ天草をメイン会場に、県内外の高校生を対象とした釣り大会「フィッシング甲子園」を開催。	1,671,000円
65	上天草市	上天草市	H23	サンセット市場での上天草市産品の体験型PR事業	地元商工会が中心となり実施しているサンセット市場に、ピザ窯を使用したピザ焼き体験イベントや上天草市産の魚介類の網焼き大会を開催。	1,154,000円
66	天草市	天草海道博実行委員会	H23	天草海道博開催事業	天草地域の様々な地域資源、地域サービス、地域商品を提供し、パビリオンを持たない博覧会を実施。	10,000,000円
67	熊本市	熊本城マラソン実行委員会	H23	熊本城マラソン	熊本城マラソン大会の開催に併せて、県内の特産物をPRするための物産展や沿道イベント等を実施。	10,000,000円
68	美里町	みどりかわ湖どんと祭り実行委員会	H24	美里町の魅力発見事業	フットパスの取組み、縁側カフェ、「どんと祭り」を活用し、県外から人を呼び込み地域住民との交流を図る。	534,000円
69	山鹿市	やまが 満喫 湯らっとウォーク 実行委員会	H24	第1回 やまが 満喫 湯らっとウォーク	さくら湯のオープンにあわせて、ウォーキングコースを設定し、「第1回 やまが 満喫 湯らっとウォーク」を実施する。	2,000,000円
70	高森町	新しい上色見を創る会	H24	上色見復興祭	大雨により水害を受けた上色見地域に人を呼び込み、復興に向けて取り組んでいる状況や元気な姿などをPRする上色見復興祭を開催する。	555,000円
71	益城町	第17回 全国朝市サミット2012 くまもと in ましき実行委員会	H24	朝市を活用した益城町の交流拠点づくり事業	朝市サミットを開催し、町外から人を呼び込み、町全体の賑わい創出を図るとともに、くまもと朝市交流会を設立する契機とする。	2,000,000円
72	水上村	水上村	H24	水上村森林セラピー基地推進事業	県内で初めて認定された森林セラピー基地を活用した交流人口拡大のため、セラピー基地のグランドオープンの記念式典、イベント、新たなセラピーロード候補地発掘のための調査を行う。	2,611,000円
73	天草市	天草海道フェスタ実行委員会	H24	あまくさオリーブ活用プロジェクト	オリーブを活用した新たなグルメ開発や販路開拓、「あまくさオリーブグルメフェスタ」等の地域一体となったイベントを展開するなど、「オリーブの島」としてのイメージを発信し、天草の魅力づくりを行う。	5,500,000円
74	上天草市	上天草市	H24	天草観海アルプストレッキングイベント～山ガールサミット in 上天草～事業	観海アルプスを新たな観光資源として捉え、その認知度を高め、魅力あるルートを全国へ発信するため、山ガールをキーワードとしたイメージ戦略による集客や既存公共交通機関を活用した取組みを行う。	2,387,000円
75	上天草市	上天草市	H24	九州オルレを活用したインバウンドフォーラム事業	維和島が九州で唯一、「九州オルレ」に認定されたのを機に、韓国及び国内観光関係者を対象としたフォーラムや現地視察、旅行商品の開発等を実施し、地域資源としての魅力を今後の交流促進に繋げる取組みを行う。	1,200,000円
76	上天草市	天草倶楽部	H24	みんなで宝島をプロデュース PROJECT “天草の魅力” 発掘事業	フィッシャリーナ天草において、他団体等とも連携しながら、農林水産物や加工品などを紹介販売するマーケットを開催するほか、地域で営まれている農林水産業等を巡回して見学・体験するツアーなどを実施する。	537,000円
77	美里町	美里フットパス協会	H25	～地域を元気にする魔法～ 美里フットパス活動促進・PR事業	フットパスによる新しい地域づくりの手法を確立するため、全国規模のフットパスサミットを行う。	1,000,000円
78	南阿蘇村	南阿蘇村観光PR事業実行委員会	H25	山ガールサミット in みなみあそ	女性を中心に、登山初心者をはじめとする新たな観光客層を対象に、南阿蘇の観光資源とフィールドを生かした、トレッキングモデルコースづくりや、交流イベント等を行う。	1,469,000円

補助金採択事業一覧 (H23～H25)

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
79	八代市	NPO法人ネット八代	H25	おれんじ沿線地域マイレール交流拡大推進事業	肥薩おれんじ鉄道開業10周年の機会を利用し、住民参加型による誘客の取り組み(写真撮影会、シンポジウム等)を行う。	875,000円
80	八代市	やつしろTOMATOフェスタ実行委員会	H25	やつしろTOMATOフェスタ交流拡大プロジェクト	八代の重要な地域資源であるトマトを活用した「やつしろTOMATOフェスタ」において、イメージキャラクター「とまピン」を活用したPRや、トマト収穫体験ツアーを行う。	1,993,000円
81	天草市	天草海道フェスタ実行委員会	H25	第1回世界サンタクロース会議 in 天草	「クリスマス=天草」というイメージの定着を図り、交流人口の拡大を図るため、グリーンランド国際サンタクロース協会公認の「世界サンタクロース会議 in 天草」を開催する。	2,000,000円
82	上天草市	上天草市	H25	上天草市トレッキングフェスティバル	国内外のトレッキングやウォーキングに関心のある方を対象に、地域やアウトドアショップ等と連携し、トレッキングフェスティバルを開催する。	2,094,000円
83	上天草市	上天草市	H25	韓国文化に触れて学ぶ九州オルレ	韓国文化に触れる市民向けの講演会やパネル展、オルレツアーを実施するとともに、観光関係者向け韓国語講座の開催や、韓国語ホームページの整備などを行う。	3,200,000円
84	上天草市	上天草市	H25	天草観海アルプスファンづくり推進事業	クルージングやグルメ、温泉などの地域資源を合わせた「トレッキング+α」のイベントや、SNSを活用した情報発信の仕組みづくりを行う。	2,113,000円



番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
交流プログラム・観光ルート等の開発						
85	玉名市	玉名市	H24	観光地域づくり事業	県立大学の学生とともに玉名市天水町の観光地域資源を発掘し、若者向けの観光商品を開発する。	1,250,000円
86	玉名市	新玉名駅利活用協議会	H24	福岡都市圏に向けた葉草と温泉の郷PRによる交流促進事業	福岡圏域をターゲットに「葉草と温泉の郷モニターツアー」及びフォーラムを開催する。	1,618,000円
87	山鹿市	九日町商店街	H24	豊前街道まちあるき企画～ぶらぶぜんプロジェクト～	豊前街道沿いの商店街が連携し、山鹿を訪れる観光客を呼び込み、町歩きをしてもらうための仕組みづくりを行う。	546,000円
88	山鹿市	山鹿市物産館連絡協議会	H24	食の王国“山鹿”づくり事業	山鹿市内の物産館が連携し、バスツアーや秋味の祭典等を行い、県外から人を呼び込み、農産物や加工品を内外にPRする。	1,000,000円
89	大津町	阿蘇くまもと空港地域おこし協議会	H24	阿蘇くまもと空港地域おこしプロジェクト～お花畑～	阿蘇熊本空港周辺の農地を利用し、景観作物を植え、県内外や周辺住民の交流の場づくりを行う。	549,000円
90	南小国町	南小国町まちづくり戦略策定部会	H24	南小国町「美しい村」再発見事業	地元住民が自らの手で美化や資源を磨いてもらうきっかけとして、南小国町を23のエリアに区分けし、モデルツアーを実施し、ツアー参加者に審査してもらう。	650,000円
91	御船町	御船町	H24	まちなか再生と連携した観光交流推進事業	「童心」をテーマに、交流プランの開発、おもてなし受入体制作り、プロモーション活動を実施し、御船町ファンを獲得するための観光交流を促進する。	1,050,000円
92	水俣市	特定非営利活動法人植物資源の力	H24	ヨカシコ夢袋塾	都市部住民と地域住民との交流を図ることを目的に、地域住民が講師となり、和綿の栽培、たけのこ加工品づくり等の研修型プログラムを実施する。	1,271,000円
93	芦北町	芦北町	H24	花とオレンジの観光交流づくり事業	通年型の交流人口増加に向け、特産品である柑橘類を活用した来町のしくみづくり（「でこぼんの樹オーナー制度」「みかんの里まつり」の開催）や、観光と特産品のPR活動を行う。	1,246,000円
94	宇城市	宇城市観光物産協会	H25	宇城市へ行こう！！“花と体験”うきうき花のバスツアー	交流人口及び定住人口の拡大を図るため、地域住民との交流等を通じて宇城市の魅力を知ってもらうバスツアーを実施する。	500,000円
95	御船町	御船町	H25	心のふるさと“水越へ”おかえりなさい事業	御船町水越地域において、四季を通じた体験型の交流プログラムの開発及び「水越ブランド」の確立を目指した農産物の加工品開発を行う。	1,100,000円
96	大津町	大津町商工会	H25	大津町フットパスふれあい交流プロジェクト	熊本・阿蘇間の通過観光客や、ビジネス宿泊客等が町内を回遊できるよう、フットパスコースの企画、モニター調査、散策マップの作成などを行う。	562,000円
97	高森町	高森町	H25	ワクワクドキドキの体験交流促進事業	高森町に点在する観光ブランド（湧水地・名勝地・文化財・銘木等）を再発見するとともに、新たな観光資源（歴史・文化・食等）を掘り起こし、体験交流プログラムを構築する。	1,504,000円
98	南阿蘇村	南阿蘇村観光PR事業実行委員会	H25	南阿蘇村アウトドアフィールド活用事業	南阿蘇村のアウトドアや自然を満喫できるトレッキングルートの構築やイベントの開催、ガイドの育成などを行う。	1,729,000円
99	八代市	八代市	H25	新たな地域資源を活用した観光客誘致事業	五家荘地域において、既存の観光ツアーになかった新たな地域資源を活用した旅行商品を造成するため、モニターツアーや、パンフレットの作成などを行う。	1,091,000円
100	八代市	九州国際スリーデーマーチ実行委員会	H25	やつしろマーチングリーグ（YML）創設事業	やつしろマーチングリーグを創設するため、八代市内旧町村5地域で、各々新たに魅力あるコースを設定し、ウォーキング大会を実施する。	1,197,000円

補助金採択事業一覧 (H23～H25)

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
地域資源等の磨き上げ						
101	菊池市	菊池市	H23	菊池千年風土における文化資源調査と歴史のまちづくり事業	中世から続く街並み等の文化資源を調査するとともに、国指定登録有形文化財候補に関する調査を実施。	2,125,000円
102	菊池市	菊池市地域ブランド推進協議会	H23	豊かな水と緑、光り輝く菊池ブランドづくり事業	菊池市地域ブランド推進協議会を設立し、市場ニーズの把握やご当地グルメ開発、豊かな水資源の活用、菊池市物産販路拡大、農林畜産物等のブランド化を推進。	3,903,000円
103	甲佐町	甲佐町	H23	甲佐町特産品開発	緑川の鮎やニラ、スイートコーン等を用いた新商品開発、地元の特産品のブランド化を推進するとともに販路を開拓。	3,454,000円
104	山都町	山都町	H23	ジビエ等地域資源活用促進事業	イノシシやシカなど有害鳥獣を自然の恵みとして生かす「山都町のジビエ料理」として開発。	1,100,000円
105	八代市	八代市 (やつしろ全国花火競技大会実行委員会)	H23	九州新幹線全線開業と観光資源を活用した観光客誘致事業	やつしろ全国花火競技大会開催において新八代駅からのシャトルバスを運行する実証実験を実施。	3,235,000円
106	芦北町	芦北町	H23	温泉と塩のあるまちづくり開発プロジェクト	「温泉塩」を町の新たな特産品とするため、町民との意見交換会の開催や、活用法の検討、将来的な加工所整備に向けた調査・研究を実施。	2,445,000円
107	上天草市	上天草市	H23	食による観光まちづくりと連携した交通アクセス強化推進事業	地元の特産品を活用した「ご当地グルメ」の企画開発及び食と観光地を結び観光循環バスの実証運行。	7,614,000円
108	八代市	八代市	H24	クルーズ客船を通じた観光客誘致事業	10月に来港する海外クルーズ客船の受入体制を整備し、次年度以降の定期的な寄港へつなげ、八代港の人流拠点としての機能を拡大する。	3,563,000円
109	八代市	八代市	H24	日奈久温泉活性化（アドバイザー派遣）事業	日奈久温泉の再生を図るため、専門コンサルタントを派遣し、改善指導等による意識改革を行うとともに、おもてなし研修の実施や、おもてなしマニュアル本の作成を行う。	2,000,000円
110	宇土市	宇土市観光物産協会	H25	新ご当地グルメの取り組み及びお土産品認定	宇土の新ご当地グルメとして、通年提供できるランチメニューの検討や、宇土の旬の農産物を使ったスイーツの開発、宇土らしいお土産品の募集・認定を行う。	560,000円
111	御船町	御船町	H25	「御船町5人の先哲」による交流促進事業	御船町出身の偉人である「宮部鼎蔵」を中心とした「5人の先哲」による交流促進を図るため、「5人の先哲」に係る基礎資料の収集や、PRツールの作成などを行う。	2,588,000円
112	山鹿市	山鹿温泉観光協会	H25	さくら湯を核とした山鹿の風情ある空間づくり	さくら湯の研修・休憩室を、地元の各郷土芸能団体等の発表の場や、練習の場として活用することにより、温泉情緒あふれる街づくりに取り組む。	1,238,000円
113	八代市	やつしろマルシェ生産者会	H25	八代産品の新たな魅力発見事業	八代産農産物に美容・健康という新たな付加価値をつけ、「やつしろマルシェ」による交流人口拡大を図るため、美容・健康関係の講演会や産直パック「やつしろマルシェパック」の開発などを行う。	624,000円
114	天草市	天草西海岸サンセット協議会	H25	歴史と南蛮文化の活用による交流人口拡大プロジェクト	魅力的で誇れる天草西海岸地域を確立するため、案内人の養成や、歴史文化の講演会の開催、クルーズ船ツアーの造成、乗り捨てレンタカーの社会実験などを行う。	1,000,000円
115	上天草市	上天草市	H25	産地体験型PR事業 ～地域食材を通じた都市と地域のヒト・モノ・情報交流～	上天草市の豊富な食材の販売を促進するため、専門家との意見交換や、生産者・事業者へのスキルアップセミナー、産地をめぐる「食材探しツアー」などを行う。	2,037,000円



番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
県外等への情報発信・PR						
116	宇土市	宇土市	H23	小西行長を活用した地域づくり推進事業	「小西行長」を取り上げた講演会開催に加え、ドキュメンタリードラマの制作放送や小西行長ゆかりの地散策ツアー、大阪・東京でPRイベントを開催。	6,500,000円
117	山鹿市	山鹿市	H23	①菊池川流域地域合同観光キャンペーン事業 ②エリア拡大誘客宣伝事業 ③新規観光客開拓事業	菊池川流域の玉名市、菊池市、和水町と連携し、大阪、広島、福岡方面を中心に県北地域の認知度向上のための観光キャンペーンを実施。	1,250,000円
118	八代市	八代市 (八代妙見祭活性化協議会)	H23	九州新幹線全線開業と観光資源を活用した観光客誘致事業	八代妙見祭PR活動及び新八代駅からの二次アクセス強化のためのシャトルバス運行。	1,605,000円
119	阿蘇市	内牧温泉街繁栄会	H24	内牧温泉街 200 m からの出発	内牧温泉街へ人を呼び込むツールとして、出かけたくないマップや地域資源を活用した映像等を作成し、宿泊施設等で配付、上映する。	1,025,000円
120	小国町	小国町	H24	TVドラマ等による地域資源（小国ジャージー牛乳）の情報発信を起点とした交流促進事業	小国ジャージー牛を導入した郷土の偉人に関するドラマを制作し、国内でも希少なジャージー牛乳の魅力を広く情報発信する。	6,650,000円
121	八代市	八代市 (八代妙見祭活性化協議会)	H24	八代妙見祭交流拡大事業	八代妙見祭を外国人（主として中国人）観光客にPRするため、多言語版のチラシや妙見祭プロモーション映像（DVD）の制作、中国からの影響がみられる「亀蛇（ガメ）」を活用した魅力ある素材づくりなどを行う。	1,348,000円
122	水俣市	水俣市	H24	水俣・出水県境連携観光振興事業	水俣市と出水市で観光連携推進協定を締結し、共同してパンフレット作成、物産展出展を行う。また、水俣市は鹿児島県内の肥薩おれんじ鉄道沿線で広報活動を行う。	1,275,000円
123	(熊本市)	宮本武蔵「五輪書」プロジェクト 実行委員会	H25	宮本武蔵「五輪書」プロジェクト ＝門外不出 武蔵兵法を知る！＝	国内外で高い評価を得ている宮本武蔵と熊本との関係性を首都圏で情報発信するため、フォーラムを開催する。	2,000,000円
124	御船町	御船町	H25	御船町「観光元年」観光情報システム構築事業	観光客から地域住民まで幅広く活用できる町の観光情報を一元的に集約化したポータルサイトの整備及び、観光アプリの開発を行う。	1,314,000円
125	合志市	合志市祭り実行委員会	H25	こうし魅力発信事業	「合志」という地名ができて 1300 年という節目の年であり、豊かな歴史と関連付けながら地域資源を発信し、観光客を呼び込むために「2013 こうし秋祭り」の中で特産品や歴史のPRイベントを行う。	1,932,000円
126	菊陽町	菊陽町商工会	H25	各所、各店、名人、達人発掘による体験型イベント事業	菊陽町の魅力（名所、名店、名人、達人）を発掘し、発掘した名人等が自らの事業や活動をPRする体験型イベントを行う。	1,100,000円
127	荒尾市	荒尾市ものがたり 観光研究会	H25	荒尾の感動づくり事業	荒尾市の魅力的な情報を発信するために、荒尾を象徴する「山」、「里」、「まち」、「海」の地域資源をテーマに市民と共に「荒尾の物語」の素材を選定し、情報発信を行う。	2,500,000円
128	玉名市	玉名市	H25	「音楽の都玉名」づくりを活かした交流促進事業	「音楽の郷玉名」をPRし、来訪者の周遊につなげるため、吹奏楽の育ての親と言われる「小山卯三郎氏」を取り上げたドラマの制作放送や、「音楽の都マップ」の作成などを行う。	6,484,000円
129	山鹿市	山鹿市	H25	さくら湯を核とした賑わい創出事業	「さくら湯」を中心に、豊前街道沿いの各施設と食や郷土芸能との連携による山鹿の地域イメージを確立するため、さくら湯一周年記念イベントの開催や、テレビCM制作などを行う。	4,938,000円
130	山鹿市	あんずの丘 マロンフェスタ 実行委員会	H25	山鹿「栗の里」づくり事業	県内一の栗の生産地としての認知度向上を図り、交流人口の拡大につなげるため、山鹿の栗のPR及びスイーツの開発を行う。	1,283,000円
131	阿蘇市	阿蘇草原再生協議会	H25	阿蘇草原ファンづくりを通じた交流拡大事業	「草原応援サポーター」として阿蘇草原ファンを増やすため、福岡、熊本、阿蘇において草原の魅力や維持・再生の必要性をPRするイベント等を行う。	2,000,000円
132	八代市	やっちょろやっ隊	H25	八代トマトを活用した交流促進事業	「生産者の顔が見えるグルメマップ」という、新たな切り口のPRツールを作成するため、八代産トマトを活用した店舗マップや、八代産トマトを使用した新メニューの開発を行う。	700,000円
133	八代市	八代よかご宣伝隊	H25	福岡市における八代物産観光PR事業	福岡市からの交流人口拡大を目指し、JR博多駅等で観光PR、物産展を開催する。	800,000円

絆の構築

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
地域づくり計画の作成						
134	宇土市	宇土市	H23	西部地域活性化対策調査研究事業	人口の減少により空き家や耕作放棄地などが増えている西部地域（網田地区など）について、現況調査や集落の要望等の実態を調査し、地域住民、大学、行政連携のもとワークショップ等により、地域の課題解決と活性化のための方針を策定。	700,000円
135	山都町	山都町	H23	山都町白糸台地集落ビジョン作成事業	大学等の支援を得ながら、点検地図の作成、ワークショップの開催等、町のモデル事業として白糸台地集落ビジョンを作成。	560,000円
136	多良木町	多良木町	H23	槻木の夢ビジョンづくり事業	大学と連携し、現地アンケート調査、地域住民のワークショップによる集落点検等を行い、ビジョンを作成。	1,496,000円
137	山都町	山都町	H25	馬見原地区活性化計画策定事業	地域のシンボリックな拠点施設である「新八代屋」の活用方針を軸に、商店街や地域の活性化に向けた馬見原地区活性化計画の策定を行う。	750,000円
138	山鹿市	山鹿市	H25	廃校跡地利活用協働促進事業	廃校となった岳間小学校の利活用に向けて、地元意見をまとめるワークショップの実施、加工品や旅行商品等の商品開発の検討を行い、地域づくり計画としてまとめる。	568,000円
139	相良村	相良村	H25	「相良村上四浦地区の地域振興計画」策定に係る調査研究事業	川辺川ガムの建設予定地である相良村上四浦地区の地域振興計画作成のため、調査研究を行う。	1,353,000円
地域の拠点づくり						
140	宇土市	宇土市	H24	網田地域拠点づくり事業	網田駅を改修し、地元のまちづくり団体を始めとする地域住民が地域活性化に向けた取組みを行うことができる地域の拠点として整備する。	2,000,000円
地域資源を活用した文化活動						
141	(熊本市)	城南町沈目地区大蛇踊り保存会	H23	熊本市城南町「沈目地区大蛇踊り」	長年途絶えていた伝統芸能「沈目地区大蛇踊り」（江戸後期）を地域住民により復元。	282,000円
142	(熊本市)	郷土を守る文化の会	H23	「あ～六殿宮・新幹線さくら」の伝承	富合町や熊本市の文化財、観光名所を盛り込んだP R曲（「あ～六殿宮」、「さくらちゃんがやってきた」）の公演。	420,000円
143	合志市	アニメを活かしたまちづくり実行委員会	H23	アニメを活かしたまちづくり事業	「アニメを活かしたまちづくり」の一環として、市内の小中学生（ヴィーブル子ども劇団員）を対象に、アニメ「ONE PIECE」声優主宰の劇団（東京）による演劇指導を実施。	1,000,000円
144	小国町	小国町	H23	「アート風の風」Vol.1 藤原雅哉展「縁日」	現代美術家・藤原雅哉氏が小国町の坂本善三美術館を拠点に地域住民とワークショップや宿泊体験、作品づくりを実施。	300,000円



番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
145	八代市	まちなか音楽祭 in やつしろ実行委員会	H23	“Music Town Yatsushiro (音楽の街 やつしろ)”	プロの音楽家を招いて、地元の人材育成につながる「まちなか音楽講座」を行うとともに、街の中心部にある大ホールにおいて、プロとアマの共演による「まちなか音楽祭」を実施。	661,000円
146	上天草市	特定非営利活動法人ひとつづくりまもとネット	H23	クラシックおしゃべりコンサート	熊本県出身のプロの演奏家とイベントスタッフ、地域住民が一体となって、地域住民参加型の「クラシックおしゃべりコンサート」を開催。	587,000円
147	熊本市	城南町郷土の歴史・文化をはぐくむ会	H24	創作舞踊『鏡の栄よみがえるロマンの風』	城南町の指定文化財であり、地区の宝である「鏡の栄」古墳のいわれ等をテーマとしてオリジナルの創作舞踊を作り、地域の子供達が上演する。	1,000,000円
148	宇城市	夢コンサート実行委員会	H24	ひと・まちふれあい事業～「夢コンサート」福祉のまちでうきうき邦楽！～	盲目の箏演奏者を講師に迎え、宇城市内の障がい者支援学校の子ども達を対象に出前講座を行う。また、障がい者や地域住民が一緒になってワークショップや夢コンサートを実施する。	765,000円
149	荒尾市	荒尾総合文化センター指定管理者中央設備ステージ・ラボ共同体	H24	創作ステージ ふるさと詩集(うたあつめ) vol. 4「あらお・ありがとう・あしたへ」～荒尾市制施行70周年目の今ふりかえる故郷～	市政施行70周年を記念して、舞踊、詩吟、合唱、演劇等の市民参加型創作ステージを作り、上演する。	190,000円
150	玉名市	横島校区まちづくり委員会	H24	地域の資源を活かした朗読劇制作事業	東日本大震災を受け、横島が経験した昭和2年の災害をテーマとした朗読劇を制作し、上演する。	675,000円
151	高森町	Genesis-3 起源展実行委員会	H24	起源展3 / pre-Genesis-3	阿蘇の環境を生かした住民参加型の文化芸術作品づくり、アーティストが地元民家へ宿泊、交流しながら作品制作を行うアーティストインレジデンス等を実施する。	920,000円
152	芦北町	芦北町	H24	あしきた写真フェスタ	芦北町在住の写真家らの指導を受け、町内に眠る古い写真を発掘したり、学生等の若い世代に写真展示の場を提供するなど、各種写真展を開催する。	500,000円
153	錦町	錦町「音楽の郷づくり」実行委員会	H24	錦町音楽祭 ～飛翔 世界へ～ パーカシオニスト石川直氏を迎えて(仮)	世界的パーカシオニスト石川直氏を迎え、指導を受けるとともに、錦町や周辺市町村の住民参加型の音楽祭を開催し、共演する。	472,000円
154	宇土市	宇土雨乞い大太鼓魅力再発見事業実行委員会	H25	宇土雨乞い大太鼓魅力再発見事業	全国的にも稀な、26基もの大太鼓が存在する宇土市において、雨乞い大太鼓祭りの復活や、大太鼓の価値を再発見する機会の提供、大太鼓の魅力を発信する取組みを行う。	500,000円
155	菊池市	菊池市	H25	菊池市記憶の記録・伝承事業	風情ある街並みが残っている御所通り界隈において、言い伝えられてきた昔話や風俗を記録・伝承するため、資料収集やまち歩きマップ作成などを行い、それらの成果の発表会を開催する。	740,000円
156	津奈木町	津奈木町	H25	住民参画型アートプロジェクト 赤崎水曜日郵便局開局記念展覧会 一年目の消息 語りかけることができる『君』	閉校となった旧赤崎小学校をテーマに、現代美術家らが地域住民の協力のもと作品をつくりあげ、展覧会を開催する。	1,000,000円



補助金採択事業一覧 (H23～H25)

そ の 他

番号	市町村名	取組団体名	年度	事業名	事業概要	交付決定額
157	熊本市	熊本市	H23	熊本市産農水産物ブランド化推進事業	熊本市の農水産物のブランド化と一次、二次、三次産業者の連携を図るため、農工商連携をテーマとした参加型ホームページを開発。	2,000,000円
158	熊本市	五福風流街商栄会	H23	風流街 ICTプロジェクト「城下町でお買い物」推進計画	五福校区の紹介や歴史、五福風流街商栄会加盟店のマップや商店詳細ページを備えたホームページを作成。	200,000円
159	美里町	特定非営利活動法人美里NPOホールディングス	H23	高齢社会に対応する ICT 人材育成プロジェクト	高齢者に対して分かりやすく ICT の指導が出来る人材を育成するため、パソコン講座、アプリケーション等の応用講座や先進地事例講習会を実施。	640,000円
160	玉名市	玉名観光協会	H23	世界初「AR ツーリズム」商品化事業	「AR ツーリズム」を商品化するために、新たな情報通信システムとして「玉名観光アプリ」を構築。	2,000,000円
161	玉名市	玉名観光協会	H23	「AR ツーリズム」おもてなし ICT ガイド育成事業	「AR ツーリズム」おもてなし ICT ガイド育成のために、情報通信端末の基本操作からアプリの活用までについて計 10 回の講座を実施。	500,000円
162	阿蘇市	財団法人阿蘇市地域振興公社	H23	「お知らせ端末」利活用人材育成事業	「地域福祉活動サポートネットワーク」の利用拡大のため、高齢者を中心とした地域住民への普及を促進する ICT サポーター等の人材育成を実施。	902,565円
163	荒尾市	荒尾市	H23	荒尾市辛亥革命 100 周年記念事業	辛亥革命 100 周年を記念して、宮崎兄弟の功績及び辛亥革命について、HP や展示資料などで PR するとともに、セミナーや演劇会を実施。	1,632,000円
164	玉名市	薬草と温泉の郷協議会	H23	薬草と温泉の郷づくりの総合的な広報戦略事業	「薬草と温泉の郷・玉名」づくりに取り組む玉名地域を、薬草ビジネスのモデル地域としてブランド化するため、総合的な広報戦略活動を実施。	2,000,000円
165	玉名市	玉名温泉観光旅館協同組合	H23	薬草ボディケアグッズ開発事業	玉名温泉を中心に提供する薬草ボディケアグッズの商品化。	920,000円
166	八代市	八代市	H23	自然に学び、自然と親しむプロジェクト	荒瀬ガムの歴史や球磨川の自然・暮らしに関する情報等を集積・発信する拠点を整備。	589,000円
167	氷川町	氷川町	H23	「豊で創造」八代地域まちづくり推進事業	氷川町内の学校施設に、地元の畳表を使用した部屋を設置し「学校に畳の教室」を全国に発信するとともに、高品質の畳表を生産するために、古い織機のローコスト改良技術の実証実験を実施。	1,870,000円
168	-	24365くまもとフォーラム	H23	24365熊本プロジェクト	モデル的に県内複数箇所地元市町村や住民とともに地域づくりのワークショップを行い、新しい切り口による地域づくりの提案を実施。	2,000,000円
169	合志市	合志市	H24	薬用植物による新産業創出プロジェクト	薬用植物(甘草)を新たな地域産業に結びつけるため、市民向けフォーラムの開催、広報周知による機運醸成及び産学官と生産者が連携した戦略会議等を行う。	603,000円
170	合志市	合志市漫画アニメを活かしたまちづくり実行委員会	H24	漫画アニメを活かしたまちづくり事業	市内小学生を対象に、クリエイターの指導のもと絵コンテづくりなどを行うとともに、声優による声入りの指導を受け、「合志市広報アニメCM」の制作を行う。	450,000円
171	阿蘇市	一般社団法人阿蘇テレワークセンター	H24	阿蘇あんしんサポーターズクラブ事業	阿蘇市及び産山村のほぼ全世帯に配置されている「お知らせ端末」の利用率 100% を目指すため、身近な人が高齢者等に日頃から利用方法を指導できる環境を整える。	940,000円
172	南小国町	黒川温泉青年部	H24	フューチャーセンターの手法を用いた黒川温泉の地域力向上・活性化の取り組み	外部からファシリテーター及び専門家を講師に迎え、黒川自治会員や町民など多様な参加者を集め、フューチャーセンターの手法を用いたワークショップを開催し、黒川温泉のあり方についてのビジョンを作成する。	571,000円
173	苓北町	苓北町	H24	志岐氏で繋ぐ地域活性化事業	苓北町民の崇敬の対象である「志岐氏」と同じ姓を持った全国の方々を集め、「志岐氏サミット」を開催し、苓北町のファンクラブをつくり、全国に強固なネットワークを広げる。	744,000円
174	菊池市	菊池市	H25	インターネットショップ構築事業	農林水産物の販路拡大と、菊池ブランドイメージの発信を目指し、インターネットショップ構築に向けた調査等を行う。	1,157,000円
175	菊池市	菊池市	H25	豊かな水資源を活かした菊池ブランドづくり事業	菊池水源に代表される豊かできれいな菊池の水資源と、その水で育まれた農産物のブランドイメージを高めるため、ペットボトル飲料水による PR を行う。	825,000円
176	菊池市	菊池市	H25	きくち商人塾	商店街全体を活性化し、地域コミュニティの向上を図るため、商工業者等を対象に専門家を招いて講義や意見交換を行う。	578,000円
177	八代市	八代市	H25	八代イメージアップ事業	八代市の特産品の販路拡大や観光振興につなげるため、八代市出身で全国的にも幅広い年齢層に知名度がある八代亜紀さんを起用した PR を行う。	1,077,000円
178	上天草市	上天草市	H25	映像を活用した地域プロモーションフォーラム	映画やドラマの撮影地として必要なノウハウや、地域振興につなげる具体的な手法・効果を学ぶとともに、撮影誘致の気運を高めるため、プロモーションフォーラムを開催する。	650,000円

※上記掲載の平成 25 年度採択事業については、平成 25 年 11 月末現在のものです。
 ※現行制度で採用可能なものを掲載しています。

お問い合わせ先一覧

市町村担当窓口

市町村名	担当課	連絡先
熊本市	区政推進課	096-328-2031
宇土市	企画課	0964-22-1111
宇城市	企画課	0964-32-1902
美里町	企画観光課	0964-47-1111
御船町	企画財政課	096-282-1263
嘉島町	企画情報課	096-237-2641
益城町	企画財政課	096-286-3111
甲佐町	企画財政課	096-234-1154
山都町	企画振興課	0967-73-0410
菊池市	企画振興課	0968-25-7250
合志市	企画課	096-248-1813
大津町	企画課	096-293-3118
菊陽町	総合政策課	096-232-2112
荒尾市	政策企画課	0968-63-1274
玉名市	企画経営課	0968-75-1421
玉東町	総務課	0968-85-3111
和水町	企画課	0968-86-5721
南関町	総務課	0968-53-1111
長洲町	まちづくり課	0968-78-3239
山鹿市	企画課	0968-43-1114
阿蘇市	観光まちづくり課	0967-22-3174
南小国町	まちづくり課	0967-42-1112
小国町	情報課	0967-46-2113

市町村名	担当課	連絡先
産山村	企画振興課	0967-25-2211
高森町	政策推進課	0967-62-1111
南阿蘇村	企画観光課	0967-67-2230
西原村	企画商工課	096-279-3111
八代市	企画政策課	0965-33-4104
氷川町	総務振興課	0965-62-2317
水俣市	企画課地域戦略室	0966-61-1607
芦北町	企画財政課	0966-82-2511
津奈木町	振興課	0966-78-3112
人吉市	企画財政課	0966-22-2111
錦町	企画観光課	0966-38-4419
あさぎり町	企画財政課	0966-45-7211
多良木町	企画観光課	0966-42-1257
湯前町	総務課	0966-43-4111
水上村	企画観光課	0966-44-0312
相良村	総務課	0966-35-0211
五木村	ふるさと振興課	0966-37-2212
山江村	総務課	0966-23-3111
球磨村	総務企画課	0966-32-1138
天草市	地域政策課	0969-23-1111
上天草市	企画政策課	0964-26-5511
苓北町	企画政策課	0969-35-1111

県地域振興局担当窓口

広域本部名及び地域振興局名	担当課	連絡先	管轄等
県央広域本部			
県庁企画振興部	地域振興課	096-333-2135	熊本市
宇城地域振興局	総務振興課	0964-32-2113	宇土市 宇城市 美里町
上益城地域振興局	総務振興課	096-282-3044	御船町 嘉島町 益城町 甲佐町 山都町
県北広域本部			
菊池地域振興局	総務振興課	0968-25-4121	菊池市 合志市 大津町 菊陽町
玉名地域振興局	総務振興課	0968-74-2113	荒尾市 玉名市 玉東町 和水町 南関町 長洲町
鹿本地域振興局 (相談の受付や支援については 山鹿市役所で対応します)	山鹿市企画課	0968-43-1114	山鹿市
阿蘇地域振興局	総務振興課	0967-22-3903	阿蘇市 南小国町 小国町 産山村 高森町 南阿蘇村 西原村
県南広域本部			
八代地域振興局	総務振興課	0965-33-3149	八代市 氷川町
芦北地域振興局	総務振興課	0966-82-4445	水俣市 芦北町 津奈木町
球磨地域振興局	総務振興課	0966-24-4113	人吉市 錦町 あさぎり町 多良木町 湯前町 水上村 相良村 五木村 山江村 球磨村
天草広域本部			
天草地域振興局	総務振興課	0969-22-4214	天草市 上天草市 苓北町

お気軽にご相談ください

補助金採択
事業一覧

お問い合わせ先一覧

お問い合わせ先

熊本県企画振興部 地域・文化振興局 地域振興課
〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
TEL096-333-2135 FAX096-381-9001